

研究タイトル：

船舶機関管理学



氏名：	内田 誠 / UCHIDA Makoto	E-mail：	uchida@yuge.ac.jp
職名：	校長	学位：	博士(工学)
所属学会・協会：	日本マリンエンジニアリング学会、日本船舶海洋工学会、日本航海学会		
キーワード：	船舶機関管理、Non-Technical Skills、ヒューマンファクター、船舶推進動力システム		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・海事人材育成 ・ERM：機関室資源管理（船舶機関プラントシミュレータの活用） ・船舶推進性能分析評価 		

研究内容：

1. 海事人材育成

- ・STCW 条約に基づいた QSS マニュアルの策定・運用・PDCA サイクル、外部監査対応
- ・MLIT、MEXT、JMETS、船協、日船工、造工など関係諸団体との連携と協力
- ・商船系二大学五高専による連携と協力
- ・海事人材問題委員会(JMC 海運問題研究会)委員活動
- ・MLIT 船員養成の改革に関する検討会委員実績

(参考)研究室指導学生の輩出実績(前任校における近年数年間)

NYK、MOL、K-Line、NS ユ、ENEOS オ、JMETS、三井造船、常石造船、今治造船、サノヤス造船、KHI、ダイハツディーゼル、ヤンマー、ヤマハ発動機、中北製作所、ナブテスコ、山九、富士貿易、三菱電機、JFE、JR 東海、ほか

2. ERM：機関室資源管理（船舶機関プラントシミュレータの活用）

- ・ERM におけるワークロード評価手法と非技術的能力評価手法の検討
- ・船舶機関運用管理における Non-Technical Skills 評価の普遍性の向上
- ・船舶機関運用管理における Non-technical Skill 評価の実践運用に向けた試み
- ・ERS における動力負荷特性の重要性
- ・船舶機関シミュレータの動力負荷特性 –ERM 環境の強化に向けて–
- ・複雑システムの組織資源管理向上に関する研究
- ・Examining situational awareness, trust in automation, and workload in engine resources management: an evaluation of head-worn display technology
- ・Human-Machine Interface Evaluation in Engine Supervisory Control through Alarm Performance Assessment
- ・Measurement of situation awareness in engine control room: approach for non-technical skill assessment in engine resource management
- ・Measuring Situation Awareness in Engine Control Operation

3. 船舶推進性能分析評価

- ・船舶推進動力系の過渡応答に関する研究
- ・連続モニタリングシステム計測に基づく就航中船舶推進動力特性の分析
- ・実海域における推進動力システムのシミュレーションモデル
- ・プロペラ空気吸い込みによる空洞形成と起振力

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

弓削商船高等専門学校「地域共同研究推進センター」に相談願います。 <https://www.yuge.ac.jp/step>